

レファレンス だより

2009年6月号
No. 79

福岡市総合図書館
図書利用課 相談係
☎092-852-0632



レファレンス・サービスとは、情報を求めて来られた利用者に対して、図書館の資料等を活用して、必要としている情報を探すお手伝いをするサービスのことで、法律相談や物品鑑定などといったお答えできない質問もあります。また、質問によっては回答に日数がかかるもの、資料や情報が提供できない場合もありますのでご了承ください。

■レファレンス受付件数（2009年3月分）

参考	人文	社会	自然	郷土
77	1659	490	487	451
国際	国連	こども	ホピュラー	合計
338	101	509	934	5046

（開館日 16日 一日平均 315件）



今月のレファレンス徹底解説！

Q：教育における「落ちこぼれ」ということばはいつごろから使われたか？

■「落ちこぼれ」ということばについて調べてみると

『小学館日本語新辞典』（松井 栄一／編 小学館 2005年） 2階 B1 R813.1/シ

学校教育での「落ちこぼれ」は昭和50年代から話題になったが、社会生活では明治時代末に例があったとあり、古い時代にすでに使われていたということが判明。

■学校教育の現場で使われるようになったきっかけは

『現代教育学事典』（青木 一／[ほか]編 労働旬報社 1988年） 2階 D6 R370.33/ゲ

昭和46年6月に全国教育研究所連盟が発表した「義務教育改善に関する意見調査」の報告書で、低学力が問題になり、このことばは後に教育界を超えて流行語になるほど広く使われるようになった。

『昭和ことば史60年』（講談社 1985年） 閉架書庫 814/シ

学習指導要領では「学習の遅れがちな生徒」。昭和45年、全国教育研究所連盟の「義務教育改善に関する意見調査」で授業についていけない子どもの実態が明らかになって言われたことば、とあり。

※いわゆる「学校指導書」、「学習指導要領」では学習の遅れがちな児童（生徒）として表現され、学習内容の習熟の程度に応じた指導、「個」に応じた指導の充実を図るなど指導方法や指導体制を工夫改善するよう配慮すべき事項の一つとしてあげている。

■マスコミでは

『新学校用語辞典』（牧 昌見／編 ぎょうせい 1993年） 2階 D6 R370.33/シ

「昭和40年代後半頃から、高度経済成長や技術革新が進行するにつれ、学校での学習内容の基準も高度になり（学習が次第に難しくなり）授業についていけない子どもたちが増えてきている、とマスコミで話題になった」とあり。

■参考

『NHK放送のことばハンドブック』（NHK放送協会／編 日本放送出版協会 1987年） 2階 B1 R810.36/エ

学校教育に関して用いられる「落ちこぼれ」は、アナウンスするときや表記上では「授業についていけない子ども（児童・生徒）」、「学習の遅れがちな子ども（児童・生徒）」、「(学業・成績)不振の子ども（児童・生徒）」と言い換えることとし、やむをえず「落ちこぼれ」を用いる場合には「いわゆる」をつけて使うよう取り決めている。当時すでに社会的にすっかり定着したことばであること、また好ましくない言い回しであることがわかる。



その他にもこんな質問がありました

Q：阿倍仲麻呂の和歌「天の原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山に いでし月かも」が漢詩で書かれているのを見たい

■阿倍仲麻呂関連

『和漢詩歌源流考』（溝口 貞彦／著 八千代出版 2004年） 2階B20 911.10/ミ
和歌を中国語訳したものと紹介されている。

『平安朝文学と漢詩文』（新聞 一美／著 和泉書院 2003） 2階B20 910.23/シ

該当の詩の成立について、仲麻呂と交友のあった李白などの漢詩を交えながら考察。「土佐日記」ではこの歌は中国の友人のため中国語に翻訳されたことになっているとあり。また、「この詩に漢詩の原文があった」とする A・ウェイリーの説や、「原詩は漢詩でありそれを仲麻呂が李白に贈ったものであるかもしれない」とする黒川洋一の説を紹介。

■A. ウェイリー関連

『李白』（A. ウェイリー／著 小川 環樹／訳 岩波書店 1994） 閉架書庫 921.43/ウ
上記の説。参考として『土佐日記』の記述が挙げられている。

■土佐日記関連

『日本古典文学全集 9 土佐日記』（小学館 1978年） 2階B22 918/ニ
1月20日の日記に該当の記述がある。

Q：明治天皇が行幸した土地が、史跡として指定されたい。福岡県内ではどの場所か知りたい。

■文化財関連

『文化財保護法五十年史』（ぎょうせい 2001年） 2階B16 709.1/フ

法律の制定に関して説明があり、法施行時における史蹟・名勝・天然記念物の指定件数などが記述されている。また、「明治天皇聖蹟として史蹟に指定された各地の行在地等 377件は、昭和23年に（略）指定を解除された」との説明あり。

『史跡名勝天然記念物指定目録』（文化庁／編 第一法規出版 1980年） 2階C11 R291/㊦

“指定解除目録”として、福岡県では9件が挙げられているが、明治天皇関係は「明治天皇久留米大本営」「明治天皇久留米行在所」など6件の情報が記載されている。

■法令

『法令全書 昭和23年6月号』（印刷局業務部官報課／編 印刷局業務部図書課 1948） 閉架書庫 R320.91/ホ
昭和23年6月29日 文部省告示第64号に、県別に指定解除された史蹟の名称と所在（市町村名）が記載されている。福岡県は「明治天皇久留米大本営」「明治天皇久留米行在所」など6箇所。

■雑誌

『歴史評論 1990年2月号』（校倉書房） 福岡県立図書館所蔵

「明治天皇の「聖蹟」保存について」という論文中に“文部省指定明治天皇聖蹟一覧表”がある。県別の件数があり、福岡県は学校が3件、野立所・その他が3件とある。

Q：満州国の首都、新京（現・長春）の当時の街および建築物の状況が分かる資料がないか？

■写真集

『さらば新京』（国分 修／文 国書刊行会 1979） 閉架書庫 292/サ

『長春旧影』（劉 風楼／主編 人民美術出版社 2002） 2階国際A17 F102CHI/292.25/LI

■都市計画

『満州国の首都計画』（越沢 明／著 日本経済評論社 1988） 閉架書庫 518.8/コ/

写真のほか図・計画表・統計資料なども記載されている。

■建築

『全調査東アジア近代の都市と建築』（筑摩書房 1996） 2階E14 523.2 /㊦

長春の項で満州国政府の建築について論じている。

以下の本も満州国の建築についての写真や記述あり。

『日本植民地建築論』（西澤 泰彦／著 名古屋大学出版会 2008） 2階E14 523.2/ニ

『大日本帝国の領事館建築』（田中 重光／著 相模書房 2007） 2階E14 523.22/㊦

Q：電気透析による製塩法が書かれている資料はないか？

■塩関連

『塩の科学』（橋本 寿夫／著 村上 正祥／著 朝倉書店 2003年） 2階E12 669/ハ
イオン交換膜電気透析法による製塩法。原理や装置、付帯設備などの説明あり。図・写真入り。

『塩なんでもQ&A』（塩事業センター 2001年） 2階E12 669/シ
電気透析法に関する項目あり。

■事典・ハンドブック

『食品工学ポケットブック』（種谷 真一／著 工業調査会 1994年） 2階E4 R588.03/タ
牛乳や製糖工業など、食品工業における利用について記載。主に脱塩について記述あり。

『食品技術総合事典』（農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所／編 朝倉書店 2008年）
2階E4 R588.03/シ

電気透析（ED）法の説明に食塩の濃縮例があり。

『化学工学便覧』（化学工学会／編 丸善 1999年） 2階E4 R571.03/カ
真水生成の電気透析を一般論として説明している。その中に、脱塩率に関する計算式がある。

■インターネット

「財団法人塩事業センター」【<http://www.shiojigyo.com/>】
「塩事業資料室」、「統計/各種調査」などのページあり。

Q：企業内保育についての資料がないか？

■女性労働・労務管理

『各国企業の働く女性たち』（柴山 恵美子／編著 藤井 治枝／編著 ミネルヴァ書房 2000）
2階D16 366.38/カ

アメリカでの企業内保育所への取り組みや、実際に導入している企業の例が挙げられている。また、企業内保育所の長所や問題点などについて書かれている。

『迷走する両立支援』（萩原 久美子／著 太郎次郎社エディタス 2006） 1階66 366.38/ハ
事業内託児所を導入しているアメリカの企業の例が挙げられている。

『女性労働の分析 2007年』（厚生労働省雇用均等・児童家庭局／編 21世紀職業財団 2008）
2階C16 R366.38/シ

事業内託児所を設けているなど次世代育成支援を推進している企業の表彰や、事業内託児所を設置、運営するための助成についても記述がある。2006年版にも同様の記述あり。

■雑誌

以下の雑誌に企業内保育所を導入している企業が掲載されている。

『論座 2006年11月号』（朝日新聞社） 閉架書庫

資生堂、麒麟ビール、日本郵船、新生銀行

『AERA 2003年11月3日号』（朝日新聞社） 閉架書庫

資生堂、日本郵船、エトワール海渡

『月刊福祉 2008年5月号』（全国社会福祉協議会） 2階M1-5

（株）相南ドリル

『潮 2007年5月号』（潮出版社） 閉架書庫

資生堂

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊！

『事典日本人の見た外国』（富田 仁/編 日外アソシエーツ 東京 2008年）2階C11 R290.9/ジ/

江戸時代から戦前までの日本人の海外見聞記や案内書の解説を収録。377点の日本人の外国観・外国人観を記す歴史的記録を紹介する事典です。時代別に編集され、各時代別に著者名の五十音順に配列されています。それぞれの文献について、書名、対象国、著者紹介、文献の背景と内容、文献の出版情報などがまとめられています。巻末に国別索引、書名索引、著者名索引、事項索引と索引も充実しており、手持ちの情報に合わせて、いろんな角度から必要な情報にアクセスできるように配慮がなされています。

使ってみました！⇒“川上音二郎”が欧米巡業時に書いた文献を探してみる！

時代別に著者の五十音順に編集されているので、明治時代の前半の方に川上音二郎・貞奴の共著作として、『川上音二郎貞奴漫遊記（かわかみおとしろうさだやっこまんゆうき）』が見つかる。1900年前後の米国、英国、仏国の記録であることがわかる。また、日本人俳優最初の欧米巡業の顛末記であること、また日本演劇史にとって貴重な記録であることなど、この文献が書かれた背景や文献としての位置づけについても言及している。出版情報などもあり。また、著者名索引から辿り着く方法もある。



図書館活用術 ～図書館の種類について～

ひとくちに図書館といっても、いくつかのタイプがあります。ここでは、その種類と特徴をご紹介します。

- ①**国立国会図書館** 国会議員、行政、司法、国民全体に対してサービスを行います。また、蔵書の貸出・複写などにより、全国の図書館をバックアップします。
- ②**公共図書館** 誰もが無料で利用できるよう設置された図書館で、県立やその他市町村立図書館に分かれています。本や雑誌、新聞のほか、行政資料や地域の情報を得ることができます。
- ③**学校図書館** その学校に所属する生徒・教師を対象に、小・中・高等学校に設置される図書館です。最近では特に、学校教育の中で情報の利用方法を学ぶ場として、注目されてきています。
- ④**大学図書館** 学生や教員の研究活動のために設置されている図書館です。たくさんの専門分野の資料が蓄積されています。
- ⑤**専門図書館** 専門分野の資料をきめ細かく収集している図書館です。特定の機関に附属して設置され、その機関に所属している人に限定してサービスを行っている場合もあります。

福岡市の図書館は、②の公共図書館に当たります。必要な資料がない場合、少し前までは、国立国会図書館や県立図書館などから取り寄せて提供していましたが、一方、一般の方が大学図書館などの専門性の高い資料を利用することはかなり制限されていましたが、近年、館種を越えた協力ができるようになり、市内の大学図書館の協力のおかげで、利用者の求めに応じて専門的な資料を提供できる機会が増えました。本を取り寄せて提供できるケース、資料を所蔵している図書館へ直接行っていただくケースなど対応は様々ですが、お求めの資料がない場合はレファレンス・カウンターでご相談ください。



6月は雨の季節…図書館の季節…

6月は一年でも雨の多い季節ですね。雨の日は鬱陶しく感じられるかもしれませんが、「晴耕雨読」という言葉にならえば、読書にはもってこいの季節ともいえるのではないのでしょうか。図書館とも是非ご縁を深めて、本を通して世界を旅していただけたらと思います。

ここでひとつお願いがあります。館内への傘の持ち込みはお断りしています。傘をお持ちのときは、傘立てのご利用をお願いします。足元が悪い日には、お気をつけておいでください。